

# 第1回 諏訪市 ICT 教育推進協議会記録

課所名

教育総務課

会議名 第1回 諏訪市 ICT 教育推進協議会

開催日時 令和3年8月23日(月) 午後 16時00分 ~ 17時22分

開催場所 諏訪市役所 大会議室

出席者  
会長:五味 康剛、 副会長: 榊澤直樹 (敬称略)  
委員:小島雅則、宮尾昭広、河西一樹、飯野敏行、尾崎剛、伊藤正敏、小島郷史、神谷慎介  
(欠席者) 1名 (五味和高)  
事務局:細野教育次長、柳平教育総務課長、森教育企画係長、名取主任、岩波指導主事  
(傍聴者) 1名

資料  
◇配布資料  
No.1 諏訪市 ICT 教育推進協議会 委員名簿  
No.2 諏訪市 ICT 教育推進協議会設置要綱  
No.3 ICT 教育に関わる現状

## 協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1 開会(教育総務課長)

2 教育長あいさつ

3 委嘱状交付

【机上により交付】

4 自己紹介

(資料No.1)

5 協議

(1)正副会長の選出

【会長 五味康剛 副会長 榊澤直樹】

(2)諏訪市 ICT 教育推進協議会の目的と役割について

【事務局より説明】(資料 No2)

(3)諏訪市立小中学校の ICT 教育の現状と課題について

【事務局より説明】(資料 No3)

(4)質疑・意見交換

委員:ICT担当教員は専任なのか。掛持ちの教員か。

事務局:専任教員はいない。

委員:そうなってくると学校間において、先生のレベルにおいて差が生じてくるので、ICT支援員の積極的支援を検討していただきたい。

事務局:学校間で差が出ないようにICT担当教諭によるICT教育委員会において情報共有を図っている。当協議会でいただいた助言などもICT教育委員会に伝えていきたい。

事務局:ICT教育委員会は諏訪市の校長会の中にある組織で、各学校の意見を取りまとめながら諏訪市のICT教育を推進していく組織である。

委員: 正直ICT担当は非常に繁忙である。ICT担当は日々の業務に加え、現場の職員からの質問も多く負担が大きい。しかしながら教員としてはできるだけ子どもたちにパソコンを使っていただきたと考えている。現場の教員と行政の考え方に差があると感じられるのでこのような会を開いていただくことはとても良い。職員向けの研修会を開催していただき、タブレットを使えば業務軽減になることに気付いていただき、どんどん使ってもらいたいと思う。ハード的支援や人的支援について教育委員会には是非お願いしたい。

委員: 故障が多く、複数台壊れるとICT担当に修理を依頼される。再インストールの作業など非常に負担がかかる。先生たちは積極的に使用したいがアップデートを待っていたり、操作に手間取っているとすぐ授業時間が終わってしまう。専門の支援員がいると授業もスムーズだし、ICT担当の負担も軽減される。活用は、若い先生たちを中心に活発に進めてきている。ハード的な整備や人的配置をカバーしていただくと活用が活発になると思う。

委員: 有償サポートの契約はしているのか。アプリケーションの選定などは国が定めることなのか。

事務局: タブレット端末の補償はメーカー補償の範囲であり、自然故障のみに限られる。アプリケーションの選定はICT教育委員会の要望で導入している。今後も要望があれば検討していきたい。

委員: ICT担当の先生の負担が大きくなっているのか、ICT担当が担う業務と有償サポートにお願いする業務を明確に区別したガイドラインはあるのか。

事務局: 教育委員会の職員、保守業者なども対応しているが、やはりICT担当の負担が大きいので、ICT支援員などの人的支援が必要ではないかなと認識している。

副会長: 詳しい先生のない学校では、故障したときなど市教委にお願いして業者対応をお願いしている。アプリの利用に苦慮している先生もいるが研修会などで補っていききたい

会長: ハード面については専門的知識がないと対応できないので、学校の先生方にすべてお願いするのは難しい。要望のある人的支援など検討していただきたい。アプリケーションは先生方が教育現場でどのように使いたいか、やりたいことをやるにはどのようなアプリケーションがあるのかを知らないと対応できないので皆さん方の英知を絞って検討していきたい。

委員: タブレットを使った授業をした時、先生方で内容を共有する機会があるのか。

事務局: ICT教育委員会で共有を図っていくが、アプリケーションが十分に稼働していない部分もあり、全体での共有にまで至っていないのが現状である。問題が解消されれば共有を図っていききたい。

委員: 他の自治体の取組で、授業で実施した経緯を残して、蓄積することによって後で見返りができる取り組みを実践している。こういうのが浸透していくと授業内容もブラッシュアップできると思う。

委員: 中学校では少しずつタブレットが活用されている。調べる学習がすぐできるだけでもありがたい。Teamsを使ってグループごとで意見交換もできるようになった。Teamsを使って中間教室の生徒が授業配信を見ることができるようになった。コロナの関係で登校できない子への授業配信が可能になった。少しずつICTを使って今までできなかったことがやれるようになったことが非常にありがたい。まだまだ可能性がある分野である。授業視察を見てもそのように本当に感じた。中学生になると、堪能な子は教え方も非常に上手である。スタートしたばかりで課題が沢山あるが、是非ご支援をお願いしたい。

副会長: 当校のICT担当も校内の課題をとりまとめて相談された経緯がある。ICT担当に負担が集中しないよう我々管理職も意識していかなければならないと認識した。

教育長: 全県のどこの市でも悩んでいるのが現状。お金の問題、ルールの問題もある。まだ始まったばかりでみんな困っている。やりながら作っているのが現状。そのような中で一番問題になっているのが持ち帰りである。この議論は大きな悩みである。まだまだ始まったばかりなので担当の先生の負担が大きいところだが、その辺のところも解釈しながら徐々にルールを作っていきたい。

会長:現場の先生方のご苦勞がよく伝わった。いただいたご意見を行政はよく検討していただきたい。

委員:学校の基幹となるネットワークを我々で構築させていただいた。他の市町村に負けない高速ネットワークを整備させていただいたと自負している。大いに活用して欲しい。皆さんの問題を解決しつつ、学校教育にICTが活用できるよう協力させていただきたい。

委員:私も学生のPCトラブルがあると面倒をみる立場にある。とても大変だった思いがある。可能であれば有償サポートなども導入できれば楽になると思う。教員がやらなくてはならないことはパソコン以外にも沢山ある。授業の中でどのようなアプリを使って何を教えたらいいのかがわからないといった課題は、構築するまでに時間が掛かる。当大学では模擬講義などやっているし、信州大学でもやっていると思うので、このようなものもうまく利用して一緒に考えていけたらなと考えている。

会長:実際にICT機器を活用していく上で、いろいろな課題があることが把握できた。ハード面とソフト面での課題があるが、これからも課題解決に向けて当協議会でも協力していきたい。

#### 6 次回以降協議会の開催予定について

事務局:当協議会は概ね3ヶ月に1回程度の開催を予定している。次回第2回を11月ごろ、第3回を2月頃に予定している。実際の学校現場でのICT機器を活用した授業の視察なども予定している。

#### 7 その他

【特になし】

#### 8 閉会

【教育次長】

(17:22 終了)